

一般社団法人日本太陽エネルギー学会 第12回定時社員総会報告

一般社団法人日本太陽エネルギー学会第12回定時社員総会は5月26日（木）午後1時30分からNATULUCK 神田北口駅前店3階会議室にてオンライン会議を併用して開催された。

式次第は次の通り。

1. 開会の辞
2. 議事
第1号～第3号議案
3. 2021年（令和3年）度学会各賞受賞者の発表
4. 表彰式
5. 閉会の辞
6. 特別講演

定款第15条により光田憲朗会長が議長として開会を宣言した。続いて総会開催資格について加藤和彦副会長より個人会員ならびに団体会員の正会員593個中、出席者19個、オンライン参加者55個、総会議長への委任313個、合計387個であり定款17条に定める正会員の1/3（198個）を超え、総会は成立した旨の報告がされた。

続いて書記、議事録署名人の選出に移った。議長より、書記に加藤和彦副会長、議事録署名人に秋澤淳副会長にそれぞれお願いしたい旨の提案があり、挙手多数により選任された。続いて第1号議案から第3号議案の審議に入った。第1号議案「2021年度事業報告並びに決算報告に関する件」について秋澤淳副会長より説明を受けた後、会計監査報告として、監事を代表して原人志監事より「会計は適正に処理されている」旨の報告があった。議長が議案の賛否を問い、全員の賛成をもって承認された。

第2号議案「2022年度事業計画並びに予算に関する

件」について秋澤淳副会長より説明の後、議長が議案の賛否を問い全員の賛成をもって承認された。

第3号議案「法人第7期役員選出の件」について光田会長から選挙結果、および会長推薦理事3名の説明の後、議長が議案の賛否を問い、全員の賛成をもって33名の役員が承認された。

続いて秋澤淳表彰委員会委員長より2021年度の学会各賞の受賞者が報告された後、表彰式を執り行った。功労賞として、前会長で東京都立大学名誉教授の須永修通氏に記念の盾が贈呈された。2021年度論文賞として、国立環境研究所の渡邊武志氏に表彰状と記念のメダルが贈呈され、総会は午後3時に終了した。

総会に引き続き午後3時15分より加藤和彦副会長の司会で1件の事業報告と2件の特別講演が実施された。事業報告として教育委員会の活動紹介が東京都立産業技術高等専門学校の川崎憲広委員長から報告された。

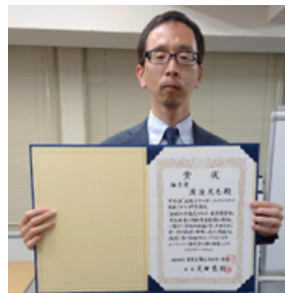
特別講演として、須永修通前会長から「初期のパッシブソーラーハウス（米国、豪国）と有効熱容量の研究」、東海大学教授の木村英樹理事から「ソーラーカーとソーラー無人飛行機の開発最前線」と題して2件の講演をいただいた。

須永前会長の講演では、パッシブデザイン、パッシブソーラーハウスの歴史から、RC蓄熱体の有効蓄熱容量の研究までについて判り易く解説いただいた。

木村理事の講演では、カーボンニュートラルに最も近いモビリティとして東海大学のソーラーカーチームの参戦歴をベースにソーラーカーの進化について判り易く解説された。またソーラーUAVについて最前線の動向が紹介された。



功労賞受賞 須永修通氏



論文賞受賞 渡邊武志氏

(第1号議案) 2021年度事業報告並びに決算報告

一般社団法人日本太陽エネルギー学会
2021年度(令和3年度)事業報告

自: 2021年4月1日

至: 2022年3月31日

1. 第11回定時社員総会

期日: 2021年5月26日(水)

場所: COVID-19の影響により日本太陽エネルギー学会事務局にてオンライン参加を併用して開催した。議事:

(1) 2020年度(令和2年度)事業報告並びに決算報告および剰余金処分(案)ならびに会計監査報告の承認に関する件

(2) 2021年度事業計画並びに予算(案)の承認に関する件

(3) 表彰 担当: 表彰委員会(委員長: 秋澤 淳)
次の方々に各学会賞を贈り表彰した。(敬称略)

1) 2020年度 功労賞

板垣昭彦(一般社団法人日本気象協会)

2) 2020年度 論文賞

標題「積雪を考慮したSV法モデルによる地域メガソーラ発電電力量の予測」掲載号 Vol.46, No.2 (256号)

佐々木崇宏, 植田 讓(東京理科大学)

標題「EL画像を用いたPIDモジュールの出力推定に関する研究」掲載号 Vol.46, No.3(257号)

澤田 賢, 山中三四郎(名城大学)

西戸雄輝, 小林 浩(トーエネック)

3) 2020年度 奨励賞(一般部門)

標題「太陽電池ストリング中でのバイパスダイオード故障位置と高抵抗化位置の診断技術の開発」

森岡孝之(三菱電機株式会社)

4) 2020年度 奨励賞(学生部門)

標題「二酸化バナジウム焼結体の蓄放熱特性～パラフィンとの比較～」

根本晃成(長岡科学技術大学)

標題「強化学習を用いた土壌熱交換システムの最適運用手法の提案 - Q-Learning と CFD の連成解析による検証 -」

平田一馬(北九州市立大学)

標題「床下・壁体内空気循環工法による全館空調住宅における実測調査 室内・床下の温湿度

環境と年間エネルギー収支の評価」

谷口祐仁(前橋工科大学)

標題「熱帯地域の日射強度を対象とした気象モデルのオプションについて」

原田大紀(岐阜大学)

標題「水素キャリア製造のための中温域アンモニア電解合成用酸物コア-ガラスシェル型プロトン伝導電解質の調製」

志田 敦(東京工業高等専門学校)

標題「高効率二酸化炭素還元に向けたシトシン由来非金属触媒の合成と活性評価」

西澤菜々美(東京工業高等専門学校)

標題「EVを用いた系統電圧制御におけるPV発電機会損失低減のためのEV導入率と充電率の検討」

白川元實(岡山大学)

標題「1/4カット結晶Siセルを用いた曲率半径1mの3次元曲面PVモジュールの試作」

込山 輝(長岡科学技術大学)

(4) フェロー認定

2020年9月8日に「フェロー制度」を新設し2021年5月13日の理事会で41名のフェローを認定した。

2. 理事会

第62回理事会 2021年5月13日

第63回理事会 2021年7月8日

第64回理事会 2021年8月30日(メール審議)

第65回理事会 2021年9月10日

第66回理事会 2021年11月10日

第67回理事会 2022年1月14日

第68回理事会 2022年3月10日

3. 各種委員会活動

3.1 事業委員会(委員長: 木村英樹)

(1) 「電気自動車・燃料電池車・ソーラーカー製作講習会 - エコカー開発とカーボンニュートラル社会・SDGsを担う人材の増強を目指す -」

2022年3月12日オンライン開催 参加者: 229名

3.2 広報委員会（委員長：加藤和彦）

- (1)「第16回再生可能エネルギー世界展示会」(協賛)
2022年1月26日～28日 東京ビックサイト
アカデミックコーナーに出展し研究発表会や出版物の紹介を行った。入場者数：10,607名
- (2)会員専用HPの学会誌記事は閲覧のみ可能であったが、すべてダウンロードできるように改めた。また通巻267号の記事からカラー化して掲載した。
- (3)ウェブメディア「みんなの試作広場」に掲載する太陽エネルギー利用の基礎知識(10回連載)を企画し、第1回から第8回までを掲載した。

3.3 学会誌編集委員会（委員長：秋澤 淳）

- (1)学会誌「Journal of Japan Solar Energy Society (太陽エネルギー)」発刊
Vol.47, No.3 263号 2021年5月(62頁)
Vol.47, No.4 264号 2021年7月(120頁)
Vol.47, No.5 265号 2021年9月(70頁)
Vol.47, No.6 266号 2021年11月(102頁)
Vol.48, No.1 267号 2022年1月(118頁)
Vol.48, No.2 268号 2022年3月(104頁)
以上、通巻263号から268号を発行した。
- (2)研究論文・技術論文は12編を掲載した。
- (3)100% RE 部会研究発表会特設セッション、関西支部シンポジウム、太陽光発電部会セミナーの講演要旨を学会誌特集記事として掲載した。
- (4)「論文投稿票」を改定しHPに掲載した。

3.4 研究発表会運営委員会（委員長：若尾真治）

- (1)2021年度日本太陽エネルギー学会研究発表会を以下のとおり開催した。
開催日：2021年11月11日(木)～12日(金)
会場：Zoom 会議室ブレイクアウトルーム(2会場)を利用したオンライン開催
参加登録者数：133名 一般講演論文：68件
- (2)2022年度研究発表会開催地(予定)
会場：福井県国際交流会館(福井市)
開催日：2022年11月10日(木)～11日(金)
見学会：2022年11月9日(水)
懇親会：2022年11月10日(木)

3.5 学会活性化委員会（委員長：植田 譲）

若手研究者に自由な発表の場を提供することを目的として第2回若手研究発表会を以下のとおり開催した。

2021年7月14日(水) オンライン開催 参加者70名
発表者22名中19名の学生発表者の中から若手研究発表会奨励賞を以下の5名に授与した。

標題「固体高分子形燃料電池の触媒電極膜の最適化」 田鍋舞斗(兵庫県立大学)

標題「実大実験棟を用いた潜熱蓄熱材敷設の効果検証およびシミュレーション」季 思雨(東京大学)

標題「両面受光型太陽電池の発電量への影とクラスタの影響」 佐戸佑気(福井大学)

標題「大規模太陽光発電所におけるモジュール動作点密度を用いた故障ストリング検出」

谷名香里(東京理科大学)

標題「短絡故障バイパスダイオードのI-V特性とその故障抵抗値の分布」

平田 航(津山工業高等専門学校)

3.6 学会規程委員会（委員長：松尾廣伸）

- (1)著作権の定義に映像、動画や音声等を含めるよう著作権規程を改定した。
- (2)事務局業務に係わる在宅勤務規程の改定、電子帳簿保存法の改正に伴う電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程を制定した。

3.7 表彰委員会（委員長：秋澤 淳）

- (1)2021年度の奨励賞は一般部門3件、学生部門24件の申請に対して以下の通り選考し推薦した。
奨励賞(一般部門)は該当者なし。
奨励賞(学生部門)は4件を選考し推薦した。
- (2)功労賞は1名を選考し推薦した。
- (3)論文賞については1件を選考し推薦した。
- (4)学会賞は応募なし。
(各賞受賞者は別掲)

3.8 国際交流委員会（委員長：山田 昇）

- (1)ISESの最近の活動状況を確認するため、Solar World Congress(SWC2021)に参加し、学会誌通巻267号に参加報告を掲載した。

3.9 教育委員会（委員長：川崎憲広）

- (1)一般および中・高校生、大学教養課程学生への教育・啓発に利用できる太陽・再生可能エネルギーを分かり易く解説したパワーポイント、動画などの教材(資料)を2022年4月の公開に向けて準備した。
- (2)著作権に関する勉強会「学術団体と著作権～権利侵害のない安心した学会活動のために～」

2021年9月28日オンライン開催 参加者：33名
講師：矢倉信介 弁護士(オリック東京法律事務所)

3.10 脱炭素社会推進会議(担当理事：太田 勇)

- (1)第8回脱炭素社会推進会議シンポジウム「2050年脱炭素社会のための建築・都市・地域のあり方－地球環境非常事態宣言下での葛藤と展望－」を2022年1月21日に開催した。

4. 部会活動

4.1 太陽熱部会 (部会長：盧 炫佑)

- (1) 第16回再生可能エネルギー世界展示会における太陽熱分野に関する企画運営協力
(2022年1月26～28日/東京ビックサイト)
- (2) 講演会「再生可能熱エネルギーの利用促進に向けたビジョンと取り組み」(100% RE部会との共催)
2022年2月28日オンライン開催 参加者：47名
- (3) ウェブメディア「みんなの試作広場」第6回「太陽熱利用システムの6つの種類と特徴, 太陽熱利用システムの設置面積の推移」執筆
- (4) 学会誌の特集記事として「太陽熱利用の展開に向けた地域別ポテンシャル」を263号に企画した.
- (5) 「エコプロダクツ2022」に出展を予定していたが, COVID-19の影響により中止

4.2 太陽光発電部会 (部会長：宮本裕介)

- (1) 第30回セミナー「気候変動と植生変化, 農業の適応」
2021年7月26日オンライン開催 参加者：26名
- (2) 第31回セミナー「太陽光発電出力予測と需要」
2021年9月27日オンライン開催 参加者：126名
- (3) 第32回セミナー「気候変動」
2022年1月20日オンライン開催 参加者：50名
- (4) ウェブメディア「みんなの試作広場」第2回「太陽電池の構成単位, 製造プロセス, 性能指標, そして最新技術」, 第3回「太陽光発電システムにおけるパワーコンディショナ (PCS) の役割とMPPT制御アルゴリズム, そして環境性能」, 第4回「太陽光発電の出力予測を支える日射量予測技術」執筆.

4.3 光化学・バイオマス部会 (部会長：渡邊康之)

- (1) ウェブメディア「みんなの試作広場」第8回「バイオマスとは, 定義や種類, 利用形態を分かり易く解説」執筆.
- (2) 学会誌の特集記事として「脱炭素社会の実現に向けてCCU」特集を266号に企画した.
- (3) 予定していた見学会, 講演会は中止した.

4.4 ソーラー建築部会 (部会長：太田 勇)

- (1) ソーラー建築に特化したガイドブック作成と講座立ち上げを企画.
- (2) ウェブメディア「みんなの試作広場」第4回「建築・住宅における太陽エネルギー利用の4つのトレンド」執筆.
- (3) 予定していたソーラー建築見学会は中止した.

4.5 100%再生可能エネルギー部会 (部会長：秋澤 淳)

- (1) 研究発表会におけるオーガナイズドセッション企画

- 2021年11月12日オンライン開催 参加者31名
- (2) 関西支部シンポジウム「再生可能エネルギー大量導入時のエネルギー貯蔵」(関西支部と共催)
2021年12月1日オンライン開催 参加者119名
- (3) 講演会「再生可能熱エネルギーの利用促進に向けたビジョンと取り組み」(太陽熱部会との共催)
2022年2月28日オンライン開催 参加者：47名
- (4) モーニングセミナー「米国再生可能エネルギー研究所 (NREL) の日本人若手研究者と語ろう」
2022年3月18日オンライン開催 参加者14名
- (5) ウェブメディア「みんなの試作広場」第1回「世界と日本の太陽光及び風力発電など『再生可能エネルギー』の割合と導入推移」執筆

4.6 風力・水力部会 (部会長：堀内健司)

- (1) ウェブメディア「みんなの試作広場」第5回「風力発電の仕組みと導入量の推移, 洋上風力発電の基礎形式と展望」執筆.

5. 関西支部の活動 (支部長：堀端 章)

- (1) 幹事会
第1回幹事会：2021年4月13日
第2回幹事会：2021年8月6日
第3回幹事会：2022年1月11日
- (2) 2021年度シンポジウム「再生可能エネルギー大量導入時のエネルギー貯蔵」(100% RE部会と共催)
2021年12月1日オンライン開催 参加者：119名
- (3) 2021年8月30日に予定していた見学会 京セラファインセラミック館 (京都市伏見区) は, COVID-19の感染拡大により開催を断念した. また研究室探訪も中止した.

6. 会員推移

今年度の会員数推移は下記の通りとなった.

- ・当期 (2021年度) 新入会員
個人会員 16名, 学生会員 60名 シニア会員 1名
 - ・当期末 (2022年3月31日) の会員数
- | | |
|-------|------|
| 終身会員 | 18名 |
| 個人会員 | 475名 |
| 学生会員 | 29名 |
| シニア会員 | 24名 |
| 合計 | 546名 |
| 学校会員 | 1校 |
| 団体会員 | 31団体 |

2021年度（令和3年度）一般会計収支報告

自：2021年4月1日 至：2022年3月31日

一般会計

収入の部

(単位：円)

科目	予算	実績
前年度繰越金	3,342,853	3,342,853
会費	11,878,000	11,442,200
学会誌・書籍	1,858,000	1,852,492
雑収入	2,020,000	2,873,158
研究発表会	2,010,000	1,018,134
各種事業・部会等	1,595,000	1,390,833
当期収入	19,361,000	18,576,817
合計	22,703,853	21,919,670

支出の部

(単位：円)

科目	予算	実績
会議費	285,200	268,600
学会誌他印刷費	4,710,000	4,351,190
賛助会費	123,500	123,500
研究発表会	1,050,000	173,956
見学会・講演会	1,080,820	432,316
維持経費	5,386,020	3,060,796
人件費	6,127,460	6,419,732
法人税	70,000	70,000
税理事務所報酬	528,000	528,000
当年度支出計	19,361,000	15,428,090

特別会計（出版事業）

収入の部

(単位：円)

科目	予算	実績
前年度繰越金	0	0
書籍売上	150,000	269,500
合計	150,000	269,500

支出の部

(単位：円)

科目	予算	実績
販売経費（パンフ・送料等）	10,000	6,484
期首棚卸し資産	838,320	838,320
期末棚卸し資産	459,000	433,500
合計	389,320	411,304
次年度繰越金		0

貸借対照表（2022年3月31日）

(単位：円)

資産の部		負債・純資産の部	
科目	金額	科目	金額
I 資産の部		II 負債の部	
1. 流動資産		1. 流動負債	
現金	548,971	未払い金	0
普通預金	18,154,320	前受け金	4,349,690
定期預金	12,222,427	預かり金	29,620
2. 出版物棚卸し資産	433,500	負債の部合計	4,379,310
3. 立替金	0	III. 純資産の部	
4. 前払い費用	0	1. 別途積立金	20,955,232
5. 未収入金	325,100	2. 繰越利益剰余金	
流動資産合計	31,684,318	前期繰越利益	3,342,853
		当期利益	3,006,923
		(次年度繰越金	6,349,776)
		純資産の部合計	27,305,008
合計	31,684,318	合計	31,684,318

損益計算書

自：2021年4月1日 至：2022年3月31日

収入の部

(単位：円)

項目	非収益事業	収益事業	合計	備考
1. 会費収入	11,442,200		11,442,200	
2. 事業収入	4,990,884	2,413,233	7,404,117	
学会誌		1,852,492	1,852,492	定期購読・論文掲載・広告
書籍		300,029	300,029	ハンドブック
各種部会講演会・見学会	653,004		653,004	含関西支部
ソーラーカー講習会	616,000	91,300	707,300	オンライン開催
研究発表会登録費等	928,000		928,000	オンライン開催
見学会・懇親会等	0		0	
論文集売上げ・広告		90,134	90,134	
助成金	0		0	
雑収入・その他	2,793,609	71,651	2,865,260	太和田賞寄附、持続化給付金
著作権料		7,590	7,590	
特別会計収入(表彰資金)	0		0	
受取利息	271	37	308	
合計	16,433,084	2,413,233	18,846,317	

支出の部

管理費は非収益事業と収益事業収入から按分した

項目	非収益事業	収益事業	支出合計	備考
1. 事業支出	729,203	12,889	742,092	
諸会費(交付金・協賛金)	123,500		123,500	ソーラーシステム振興協会
雑費	12,320		12,320	会費引落し/ニコス事務手数料
部会支出	151,576		151,576	含関西支部
ソーラーカー製作講習会	280,740		280,740	オンライン開催
研究発表会開催費	28,370		28,370	オンライン開催
研究発表会見学会等	0		0	
論文集CDROM製作費	132,697	12,889	145,586	
2. 管理費	12,774,523	2,252,779	15,027,302	
職員給与	5,333,624	783,254	6,116,878	
福利厚生費・法定福利費	109,245	16,045	125,290	業務災害補償保険
広告費(ホームページ他)	142,561	20,936	163,497	
会議費(総会・理事会)	94,490		94,490	
会議費(その他)	45,044	6,615	51,659	
通勤交通費	210,013	30,841	240,854	
通信費	284,347	41,758	326,105	電話料・郵送料等
消耗品・雑費	139,412	20,475	159,887	
水道光熱費	77,564	11,391	88,955	
賃借料	1,360,245	199,755	1,560,000	
リース料	583,110	85,632	668,742	
学会誌制作費	3,794,027	557,163	4,351,190	原稿料・封筒代含む
書籍印刷・発送費		411,304	411,304	書籍廃却費含む
支払い報酬(会計事務所)	460,390	67,610	528,000	
学会賞	122,451		122,451	
貸倒損失	18,000		18,000	2020年度会費回収不能額
合計	13,503,726	2,265,668	15,769,394	
税引前当期利益	2,929,358	147,565	3,076,923	
法人税・住民税・事業税		70,000	70,000	2021年度事業税
当期純利益	2,929,358	77,565	3,006,923	

会計監査報告

2021 年度(令和3年度)会計監査報告書

一般社団法人日本太陽エネルギー学会
会長 光田 憲朗 殿

一般社団法人日本太陽エネルギー学会 2021 年度(令和3年度) (2021 年4月1日より2022年3月31日)の決算について一般社団法人日本太陽エネルギー学会定款第41条に基づき、決算書、帳簿、伝票、証憑書類を監査した結果、適正に処理、記載されていることを確認した。

2022年5月9日

監事 相曽一浩 印

監事 原 人志 印

(第2号議案) 2022 年度事業計画

一般社団法人日本太陽エネルギー学会 2022 年度(令和4年度) 事業計画

自: 2022年4月1日

至: 2023年3月31日

1. 第12 回定時社員総会

期日: 2022年5月26日(木)

会場: NATULUCK 神田北口駅前店3階会議室
にてオンライン会議を併用して開催する。

議事

- (1) 2021 年度(令和3年度) 事業報告並びに決算報告、剰余金処分の件、会計監査報告の承認に関する件
- (2) 2022 年度(令和3年度) 事業計画並びに予算案の承認に関する件
- (3) 法人7期役員選出の件
- (4) 2021 年度学会各賞選考結果報告、表彰式
- (5) 事業報告会・特別講演会
「教育委員会の活動紹介」
東京都立産業技術高等専門学校 准教授 川崎憲広氏
「初期のソーラーハウス(米国、豪国他)と有効熱容量の研究」 東京都立大学 名誉教授 須永修通氏
「ソーラーカーとソーラー無人飛行機の開発最前線」 東海大学 教授 木村英樹氏

2. 理事会

6回/年 開催し、遅滞なく業務を執行する。

3. 各種委員会

3.1 事業委員会(委員長: 木村英樹)

(1) ソーラーカー製作講習会は東日本地区で開催を企画する。

3.2 広報委員会(委員長: 加藤和彦)

(1) 「第17回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム」(2023年2月1日~3日) アカデミックコーナーに本会ブースを設け本会の活動内容をPRする。

(2) ホームページの会員向けサービスの充実ならびに非会員向けに学会活動のPRを図る。

(3) ウェブメディア「みんなの試作広場」に太陽エネルギー利用の基礎知識の第9回と第10回の掲載。

3.3 学会誌編集委員会(委員長: 秋澤 淳)

(1) 学会誌「Journal of Japan Solar Energy Society」をVol.48, No.3(通巻269号)~Vol.49, No.2(通巻274号)までの6回発行する。各号特集記事の充実を図る。

(2) 太陽エネルギー利用に関連する教育講座や国際会議報告、研究室紹介等を掲載し、幅広い会員に親しめる学会誌編集を行う。

(3) 論文投稿を促進するため、特集記事と関連した論文の投稿を検討する。

3.4 国際交流委員会（委員長：山田 昇）

ISES, KSES, 中国再生可能エネルギー学会（CRES）等との相互交流の具体策（Web 会議システムによる Virtual な交流の可能性など）を検討する。

3.5 研究発表会運営委員会（委員長：若尾真治）

(1) 2022 年度 JSES 研究発表会を「福井県国際交流会館」（予定）において 2022 年 11 月 10 日（木）～11 日（金）に開催する。

(2) Covid-19 の感染状況にもよるが、見学会・懇親会の開催も予定する。

3.6 学会活性化委員会（委員長：植田 譲）

若手研究者とベテラン研究者との有益なディスカッションを期待して JSES・若手研究発表会を 8 月 12 日にオンライン開催を予定する。優れた発表には「若手研究発表会奨励賞」を贈呈する。

3.7 学会規程委員会（委員長：松尾廣伸）

各種規程の整備, 見直し, 改定を推進する。

3.8 表彰委員会（委員長：秋澤 淳）

(1) 「論文賞」（太和田賞, 押田賞を含む）, 「奨励賞」, 「功労賞」, 「学会賞（学術部門）」, 「学会賞（技術部門）」, 「学会貢献賞」, 「若手研究発表会奨励賞」の受賞者を選考し, 研究開発ならびにその実用化促進に関する優れた業績を顕彰する。なお, 「奨励賞」については研究発表会において予備審査を行う。

(2) フェロー認定は年 1 回の総会に合わせて 5 月の理事会で審査・認定する。

3.9 教育委員会（委員長：大竹秀明）

4 月に「入門編 I：太陽と地球と太陽エネルギー」を HP に掲載する。また続編の掲載準備を行う。

4. 各種部会

会員相互交流の他, 新規会員の拡充を図るため, 各部会において勉強会, セミナー, 講演会等を企画運営する。

4.1 太陽熱部会（部会長：盧 炫佑）

(1) 太陽熱利用のリバイバル（PVT）セミナーの企画

(2) 「第 17 回再生可能エネルギー世界展示会」（2023 年 2 月 1 日～3 日）への企画運営への協力。

(3) 「エコプロ 2022」出展（2022 年 12 月 7 日～9 日 / 東京ビッグサイト）

(4) 太陽熱利用技術に関する教材やウェブコンテンツの制作

4.2 太陽光発電部会（部会長：宮本裕介）

(1) 第 33 回セミナー「太陽光発電と地域共生」

4 月 19 日 オンライン開催

(2) 第 34 回セミナー「再生可能エネルギー分野で活躍する女性達」（8 月頃にオンライン開催を予定）

(3) 第 35 回セミナー「PV 全般に関する AI 分析」秋～冬頃の開催を予定する。

(4) 学会誌特集記事として「FIT 制度開始からの 10 年を振り返り, 今後を展望する」を 100% RE 部会と共同で企画する。

4.3 光化学・バイオマス部会（部会長：渡邊康之）

(1) シンポジウム「光合成と人工光合成から考える脱炭素化社会」9 月頃の開催を予定する。

(2) シンポジウム「バイオインフォマティクスの基礎から考える農業分野への展開」

11 月頃の開催を予定する。

(3) シンポジウム「マテリアルズインフォマティクスと光化学」1 月頃の開催を予定する。

(4) シンポジウム「ELSI の視点で考える太陽エネルギー利用技術の今後の展開」3 月頃の開催を予定する。

4.4 ソーラー建築部会（部会長：太田 勇）

(1) ソーラー建築に特化したガイドブック作成と講座立ち上げを企画する。

(2) ソーラー建築見学会は Covid-19 の収束を待って企画する。

4.5 100%再生可能エネルギー部会（部会長：秋澤 淳）

(1) 研究発表会におけるオーガナイズドセッションの企画（2022 年 11 月 10 日～11 日）

(2) モーニングセミナー:米国の再生可能エネルギー関連の研究所とオンラインで接続し, 現地の研究員との交流を図る（9 月, 3 月頃を予定）。

(3) 講演会:再生可能エネルギー導入・地域の脱炭素化に関する政策, 将来シナリオをテーマにした講演会を実施（2022 年 10 月～11 月頃）。

(4) 再生可能エネルギー利用を実装した案件の見学会を Covid-19 の収束を待って企画する。

(5) 100%再生可能エネルギー化に関する勉強会（年 3 回程度の開催）を企画する。

(6) 学会誌特集記事として「FIT 制度開始からの 10 年を振り返り, 今後を展望する」を PV 部会と共同で企画する。

5. 関西支部の行事（支部長：原田真宏）

見学会, シンポジウム等を開催し関西地区会員の啓発活動を行う。

- (1) 見学会（2022年9月実施予定）
- (2) シンポジウム（2022年11月開催予定）
- (3) 第3回～4回研究室探訪（2022年10月, 2023年3月実施予定）
- (4) 幹事会3回/年を実施する。

6. 会員増加と財務基盤強化

事業委員会ならびに各種委員会・各種部会を通じ個人会員, 団体会員の増加を図る他, 講演会やセミナー等の事業を強化する。また, 論文投稿の促進策を検討・実施することにより個人会員, 学生会員の増加を図る。

また学会誌の誌面充実による新規購読者の獲得, 学会誌広告掲載を増強して経営の安定化ならびに財務基盤の強化を図る。

2022 年度（令和 4 年度）収支予算計画

自：2022 年 4 月 1 日 至：2023 年 3 月 31 日

一般会計

収入の部 (単位：円)

科目	予算
前年度繰越金	6,349,776
会費	11,596,400
学会誌	1,897,000
研究発表会	1,840,000
各種事業・講演会	1,347,000
雑収入	210,000
当年度収入計	16,890,400
合計	23,240,176

支出の部 (単位：円)

科目	予算
会議費	520,000
学会誌	4,410,000
賛助会費	123,500
研究発表会	905,000
各種事業・講演会	3,090,000
維持経費	3,090,012
人件費	6,550,000
事業税等	70,000
税理事務所報酬	528,000
当期支出計	19,286,512
次年度繰越金	3,953,664
合計	23,240,176
正味財産増減額	▲ 2,396,112

特別会計

1. 出版事業

収入の部 (単位：円)

科目	予算
前年度繰越金	0
書籍売上	150,000
合計	260,124

支出の部 (単位：円)

科目	予算
販売経費	10,000
期首棚卸し資産	433,500
期末棚卸し資産	229,500
合計	214,000
次年度繰越金	▲ 64,000

※ソーラー建築部会出版費用 2,400,000 円を計上

関西支部 2021 年度収支報告

収入の部 (単位：円)

科目	予算	実績
前期繰越金	554,482	554,482
交付金	0	0
見学会参加費	200,000	0
シンポジウム参加費	100,000	10,000
研究室探訪	0	0
その他（利子）	0	4
合計	854,482	564,486

関西支部 2022 年度収支予算計画

収入の部 (単位：円)

科目	実績
前期繰越金	533,826
交付金	0
見学会参加費	10,000
シンポジウム参加費	100,000
研究室探訪	0
その他（利子）	0
合計	643,826

支出の部 (単位：円)

科目	予算	実績
幹事会会議費（3 回分）	50,000	0
見学会経費	200,000	0
シンポジウム経費	50,000	30,660
研究室探訪（3 回）	40,000	0
合計	340,000	30,660
次期繰越金	514,482	533,826

支出の部 (単位：円)

科目	実績
幹事会・研究会（対面 1 回分）	150,000
見学会経費	0
シンポジウム経費	50,000
研究室探訪（2 回）	40,000
合計	240,000
次期繰越金	403,826

(第3号議案) 法人第7期役員選出
役員候補者名簿

一般社団法人日本太陽エネルギー学会第7期役員候補者

(敬称略・五十音順)

任期：2022年5月26日より第14回定時社員総会（2024年5月開催予定）の日まで

理事	秋澤 淳	(東京農工大学)
同上	植田 譲	(東京理科大学)
同上	太田 勇	(株式会社ミサワホーム総合研究所)
同上	大竹 秀明	(国立研究開発法人産業技術総合研究所)
同上	岡島 敬一	(筑波大学)
同上	桶 真一郎	(津山工業高等専門学校)
同上	加藤 和彦	(国立研究開発法人産業技術総合研究所)
同上	木村 英樹	(東海大学)
同上	小林 広武	(一般財団法人電力中央研究所)
同上	斉藤 雅也	(札幌市立大学)
同上	佐々木真人	(株式会社日本設計)
同上	佐藤 春樹	(慶應義塾大学・東京海洋大学)
同上	澤井 徹	(近畿大学)
同上	城石 英伸	(東京工業高等専門学校)
同上	中島 昭彦	(株式会社カネカ)
同上	盧 炫佑	(OMソーラー株式会社)
同上	野村 裕宗	(出光昭和シェル)
同上	埴 藤徳	(国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所)
同上	原田 真宏	(大和ハウス工業株式会社)
同上	益子慶一郎	(パナソニック株式会社)
同上	松尾 廣伸	(静岡大学)
同上	松原 弘直	(特定非営利活動法人環境エネルギー政策研究所)
同上	光田 憲朗	(三菱電機株式会社)
同上	宮本 裕介	(株式会社関電工)
同上	安田 陽	(京都大学)
同上	山田 昇	(長岡技術科学大学)
同上	雪田 和人	(愛知工業大学)
同上	吉田 茂雄	(佐賀大学・九州大学)
同上	吉永 美香	(名城大学)
同上	若尾 真治	(早稲田大学)
同上	渡邊 康之	(公立諏訪東京理科大学)
監事	相曾 一浩	(OMソーラー株式会社)
同上	原 人志	(一般社団法人ソーラーシステム振興協会)